

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号	001117	担当課等	徴収対策室
事務事業名	町税全期前納奨励事業		
予算科目コード	会計	1 款	2 項 2 目 2 事業開始年度 平成 13 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P154 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	5 みんなで作る自立と 協働のまちづくり	Ⅲ 将来を見据えた 行政経営の推進	2 財政運営	(1) 財源の確保・拡充	① 税収の確保強化				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし ○
目的	固定資産税・都市計画税及び個人の町民税・県民税の納期限前納付を奨励するため、交付基準額以上の全期前納者に町内有料観光施設等招待券を交付し、収納率の向上を図るとともに財源の早期確保と観光振興及び健康増進に寄与することを目的とする。								
対象	当該年度の固定資産税・都市計画税及び普通徴収に係る個人の町民税・県民税の額が内容欄に掲げる年税額以上の者で、第1期納期限内に全期前納した者を税目ごとに対象者とする。								
内容	【交付基準】 (1) 固定資産税・都市計画税 (町内)年税額 3万円以上の者 (町外)年税額 4万円以上の者 (2) 普通徴収に係る個人町民税・県民税 年税額 6万円以上の者 【対象有料観光施設】 (1) にごめの湯 (2) 町立湯河原美術館 (3) 町立湯河原美術館内ミュージアムショップ及びミュージアムカフェ「and garden」 (4) 湯河原町総合運動公園パークゴルフ場 (5) 湯河原町ヘルシープラザ (6) 湯河原海浜公園プール 【招待券】 施設を利用できる共通券3枚1組 【招待券の有効期限】 翌年12月31日まで ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、招待券の利用期間を半年間延長した。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)		令和元年度(決算)		令和2年度(見込)	
	事業費		事業費		事業費	
コスト	事業費	3,080,289	3,998,048		4,395,000	
	人件費					
	常勤職員	120,624	309,310		294,830	
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	120,624	309,310		294,830	
	総事業費	3,200,913	4,307,358		4,689,830	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	3,200,913	4,307,358		4,689,830	
	財源合計	3,200,913	4,307,358		4,689,830	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値	
納付状況	全期前納による歳入	千円	1,000,463	1,049,217	1,070,805	
有料観光施設招待券使用数	納期前納付の奨励	件	6,444	6,015	7000	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値	
前納率	早期財源確保	%	37.90	39.38	41.33	
有料観光施設の利用率	納期前納付の奨励効果	%	40.70	34.85	38.72	

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	4 税財源の早期確保、観光振興及び健康増進に寄与すること目的としているが、課税情報等の個人情報保護の観点から町主導で実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 税金の早期確保及び町内施設の利用増進が図られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 全期前納率は年々増加傾向にあり、税金の早期確保が図られている。また、各施設についても利用促進が図られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3 交付基準額に基づき、個人の町民税・県民税の普通徴収及び固定資産を所有している者が対象となる。
令和元年度までの自己評価または改善点	○利用施設の拡充:令和元年度より海浜公園プール、町立美術館ミュージアムショップ及びミュージアムカフェを追加 ○利用人数枠の拡充:令和元年7月よりこごめの湯を1枚1人利用から1枚2人へ拡充	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	課税状況や納税状況等の個人情報を取り扱うことから、町で実施する必要がある。
令和2年度の見直し及び改善 (実績または予定)	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用期間を延長することで入館者数を平準化し三密を防ぐこと。また、対象施設が休館となったことを受けて、招待券の利用期間を半年間延長した。 ・令和元年度利用券:令和2年6月31日 → 令和2年12月31日 ・令和2年度利用券:令和3年6月31日 → 令和3年12月31日	
令和3年度以降の方向性	本事業については、継続実施していきたい。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	全納率の向上により、財源の早期確保が図られるとともに、有料観光施設等が有効利用されている。
------	----------	-----------------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

財源の早期確保及び予算の確保に向けて、努めていただきたい。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--